

事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和4年3月31日

事業所名 ミソラ(海空)

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	3	1		基準上は満たしている。
	2	職員の配置数は適切である	4	0	基準を超えて多く配置している。	目標としては専門的支援ができるようにする
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか。	2	1		構造上バリアフリー化が行えない。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	2	2		PDCAサイクルが行われていない。
	5	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	2	2		前年度の評価表により改善を図るものの、達成していないものもある。
	6	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4	0	ホームページの移転を予定して	ホームページで公表している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1	3		第三者による外部評価は実施していない。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	2	2		来年度より、計画を立て実施していく。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	3	1		アセスメントを行ってはいるが、アセスメント不足の部分も散見される。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3	1		厚生労働省水晶のVineland-IIを使用していない
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	2	2		チームで行っていない
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4	0		工夫をしている
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題を決め、細やかに設定して支援しているか	2	2		発達支援における個別課題を取り入れていない
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで児童発達支援計画を作成している	3	1		徐々に取り組み始めている。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4	1		徐々に取り組み始めている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	2	2		今後の課題である。
	17	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	3	1		検証分析を少しずつ行い始めている。
18	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	2	2		今後の課題である。	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせることで支援を行っているか	2	2		ガイドラインに沿っていない	

関係機関 や保護者との 連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者 会議にその子どもの状況に精通した最もふ さわしい者が参画している	4	0	参加している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等 の交換、子どもの下校時刻の確認等)連絡 調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連 絡)を適切に行っているか	4	0	連絡を行っている
	22	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障 がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡 体制を整えている	1	2	連絡体制を整えていない。
	23	就学前に利用していた保育所や認定こども 園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との 間で、支援内容等の情報共有と相互理解を 図っている	2	2	情報共有を行っていない
	24	学校を卒業し放課後等デイサービス事業所 から、障害福祉サービス事業所等へ移行す る場合、それまでの支援内容等の情報を提 供する等しているか。	3	1	卒業後の会社や事業所学校への引継ぎは 行っていない。
	25	他の児童発達支援センターや児童発達支 援事業所、発達障害者支援センター等の専 門機関と連携し、助言や研修を受けている	1	2	専門機関との連携は行っていない。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障 がいのない子どもと活動する機会がある	1	3	今後の課題である。
	27	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子 ども・子育て会議等へ積極的に参加してい る	3	1	参加している
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合 い、子どもの発達の状況や課題について共 通理解を持っている	4	0	行っている
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保 護者に対して家族支援プログラム(ペアレン ト・トレーニング等)の支援を行っている	1	3	ペアレントトレーニングは行っていない	
保護者への 説明責任等	30	運営規程、利用者負担等について丁寧な説 明を行っている	3	1	運営規定の周知ができていない恐れがある
	31	保護者から子育ての悩み等に対する相談 に適切に応じ、必要な助言と支援を行っ ているか	4	0	行っている
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等 を開催する等により、保護者同士の連携を 支援している	3	3	コロナでできていない
	33	子どもや保護者からの苦情や申入れにつ いて、対応の体制を整備するとともに、子ど もや保護者に周知し、相談や申入れがあつた 場合に迅速かつ適切に対応している	2	2	行っている
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事 予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者 に対して発信している	4	0	行っている
	35	個人情報の取扱いに十分注意している	7	0	注意している
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎 通や情報伝達のための配慮をしている	4	0	している
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地 域に開かれた事業運営を図っている	1	2	ガイドラインに従い地域住民に開かれた事業 所となる方策を来年度に向けて考えていく必 要がある

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	4	0		津波災害があるので、行っているが課題がまだ多く残っている。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5	0		行っている
	40	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4	0		食物アレルギーの利用者がいない
	41	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	3	1		ヒヤリハットは作成している。共有が課題。
	42	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6	0	虐待防止委員会がある	行っている
	43	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	7	0	身体拘束適正化委員会がある	行っている

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。